

○委員長（島 昌之）

- ・ 開会宣告
- ・ 議題の確認

---

1 調査事件

(1) 学校等への冷房機器の配備及び冷房設備の整備について

○委員長（島 昌之）

- ・ 議題宣告
- ・ 本件については、本日付で教育委員会から資料が配付されている。その内容について説明を受けるため理事者の出席を求めたいと思うが、よろしいか。（異議なし）
- ・ それでは入室を求める。

（教育委員会 入室）

○委員長（島 昌之）

- ・ 本件に係る資料についての説明をお願いします。

○教育委員会生涯学習部長（川村 真一）

- ・ 学校等の冷房機器の配備および冷房設備の整備について説明をさせていただくが、委員長にお願いがある。各委員によりイメージしていただけるよう、追加の資料を配付したいと考えているが、よろしいか。

○委員長（島 昌之）

- ・ ただいまの各委員にということで教育委員会から冷房設備等の説明に係る資料を配付したい旨の申し出があったが、資料を配付してもよろしいか。（異議なし）
- ・ それではお願いします。

（資料配付：スポットクーラー等配置イメージ図）

- ・ それでは、引き続き資料の説明をお願いします。

○教育委員会生涯学習部長（川村 真一）

- ・ 資料説明：学校等への冷房機器の配備及び冷房設備の整備について（令和5年10月30日付教育委員会調製）
- ・ 資料説明：スポットクーラー等配置イメージ図（教育委員会調製）

○委員長（島 昌之）

- ・ お聞きのとおりである。ただいまの説明について、各委員から何か発言あるか。

○高橋 千晶委員

- ・ 私もまだ読み取れていない部分もあるので、もう一度確認だが、全ての学校教室に一度に設置できないということで計画的に行うということではよろしいか。その内容が来年度——令和6年度は全ての学校の保健室に常設タイプのエアコンを設置する、設置できない教室については移動式のスポットクーラーや窓用エアコンで一時的な対応をする、そして令和7年度から順次、計画的に市立の各小・中学校、高校、幼稚園に順次設置するという考え方でよろしいか。もし間違っていたら再度説明をお願い

いする。

#### ○教育委員会生涯学習部長（川村 真一）

- ・ 今、高橋委員からお話があったように、国の交付金の活用が前提にはなるが、令和7年度から常設タイプのエアコンを設置したいと考えているが、それまでのつなぎというか、当面の対策として、特別教室は除くが、子供たちが1日で一番長い時間を過ごす教室等に、スポットクーラーまたは窓設置型エアコンを設置したいと考えており、保健室については既に5校が整備済みであるので、残りの学校に、来年の夏までに整備したいというふうに考えている。

#### ○佐藤 留義委員

- ・ これは国の支援が前提だね。スポットクーラーなんかはどうか。それは、国の支援がなくてもやるということか。

#### ○教育委員会生涯学習部長（川村 真一）

- ・ スポットクーラー、窓設置型エアコンについては備品の扱いになり、国の交付金の補助の対象外になっているので、全て市の負担で行うことになる。

#### ○出村 ゆかり委員

- ・ 私、個人的にはエアコン設置となるので、こういったスポットクーラーや窓用エアコンというのは全く想定していなかった。あの教室の中に2台あったとしても、どの程度これが涼しくなるのかというのも一つあって、それに予算をかけるというのもどうかかなというのもある。
- ・ 過去の例を挙げて申し訳ないが、不公平感が出ないようにという考えがあって、本来は何台かはエアコンがつけられるけれども、このイメージする、本当に涼しくなる18度とかに設定できる常設のエアコンが本来であればできるが、全校全教室となると不公平感が出るのでこれ全部は無理だからというお考えがあるのであれば、そういったところも含めて2点、このスポットクーラーの効果——どの程度涼しくなるのか、全部に設置して無駄にならないのか、令和7年まで。
- ・ もう1つは、常設の——10万円、20万円するけれども——そういったエアコンの設置が全く不可能なのか、その2点をお伺いする。

#### ○教育委員会生涯学習部長（川村 真一）

- ・ 常設タイプエアコンについては国の交付金の活用が前提となるが、今現在、国のほうにまだ要望もしていない。あと、工事するに当たっては、どうしても設計をしなければならないということで、令和6年度からの実施については無理だろうというふうに考えており、令和7年度に向けて国の交付金の要望、既に教育委員会も加盟している北海道都市教委連や教育長会、北海道市長会、北海道も道教委も要望しているけれども、まず国の交付金の予算の確保。今現在、補助対象経費の上限が7,000万円になっているので、7,000万円を超える学校が当然出てくると思われるので、その上限の撤廃。あと補助率も現在3分の1となっているけれども、その補助金の補助率の引上げ。あと高等学校が今補助の対象になっていないので、高等学校も補助の対象に加えてほしいということで現在も要望している。具体的にどの程度の金額を要望するかというのはこれからになるが、この交付金の確保がどの程度できるのかという見通しが立たない段階で、今現在、令和6年度は非常に難しい、令和7年度もどの程度の校数ができるのかということも今見通せない状況である。なので、公平感なんていうこともあるが、市内の施工業者の施工能力。今は小・中・義務教育学校、高等学校、幼稚園で58施設あるの

で、1年間でその58施設全てを施工できるかという問題がある。関係業者からもいろいろと聞き取りはしているが、58施設はまず無理だと。民間の一般家庭でも今エアコンの需要が高まっているので、施工業者が全て1年間で対応するのは非常に難しいということで、今後、交付金の確保の見通しも見極めながら、どういう順番で、毎年度どの程度の校数が整備できるのかというのは検討していかなければならないが、今現在そこはちょっと見通しが立たない状況である。

- ・ スポットクーラー、窓設置型エアコンの能力の部分であるが、今普通教室については3台を設置したいと考えている。普通教室の面積が大体30畳から40畳である。スポットクーラーの能力が大体7畳になっているので、3台設置しても大体21畳、40畳の部屋であれば半分程度の部屋しか冷やせないような状況であるが、コロナの交付金を使って、扇風機を各教室に設置するので、扇風機も併用しながら、冷風を攪拌させるというか、そのような工夫もしながら何とか常設タイプのエアコンが整備できるまで、何とかそれで我慢していただきたいと考えているところである。その能力については、こちらとしても一度ちょっと試験的なことをやっている所以、その試験の結果を今施設課長に答弁させる。

#### ○教育委員会生涯学習部施設課長（松倉 栄治）

- ・ 今、部長のほうから説明があったが、我々も実際に何台入れたら部屋の温度を下げるかということ、9月22日になるけれども——暑い時期は少し過ぎているが、スポットクーラーを教室に3台設置して温度の変化を調べた。
- ・ 計測開始時の室温は27.6度からスタートして、1時間で22.8度と4.8度低下させることができた。このことから、学校の規模や配置によって教室の状況は違うが、室温の低下が期待できるものと考えているところである。

#### ○出村 ゆかり委員

- ・ それで、私も前回の質問でもいろいろとお伺いしたが、教室、1階から4階——というのは今ないか。（「ある。」との声あり）4階の教室がとにかく暑いと、照り返しだとかそういったことで風も抜けないし、上階の部分、3階、4階の教室については何か工夫は考えているか。

#### ○教育委員会生涯学習部長（川村 真一）

- ・ ただいま出村委員からお話あったように、階層が上がるほど非常に暑いという傾向は我々も承知しているところであるが、スポットクーラーと窓設置型エアコンを1つの部屋に設置できる台数に限りがあるので、これ以上の対応は今現在難しいと、これ以上のことは今考えられないような状況である。

#### ○出村 ゆかり委員

- ・ これで最後するが、他の自治体の動きなんかは捉えられているか。

#### ○教育委員会生涯学習部長（川村 真一）

- ・ 我々としても、道内他都市が同じような状況であるので、どのような動きをしているのか、どのような方針になっているのかということ、事務的には確認している。
- ・ ただ、それぞれの自治体が公表していないものである所以、この場での答弁は差し控えさせていただきたいと思う。

#### ○市戸 ゆたか委員

- ・ 今皆さんのお話聞いて大体見えてきた。
- ・ このスポットクーラーは1教室に3台だから、何教室あるのかその数と、それから58校につけるということになると、予算的には市の財政でつけるということなので、その財源、予算はどのように考えているのか、議会の答弁を聞いているとそういうクーラーをつけることによって、電気代もかかるということで、そこら辺の試算の仕方はどうなっているのか、まず聞きたい。

#### ○教育委員会生涯学習部長（川村 真一）

- ・ 今、スポットクーラーと窓設置型エアコンの必要な台数として我々が見込んでいるのが、スポットクーラーについては全ての学校等で2,122台、窓設置型エアコンが457台、合計で2,579台となっている。
- ・ それを購入する経費であるが、今のところ2億6,500万円くらいを見込んでいるところである。こちらについては、先ほど御答弁申し上げたように、国の交付金の対象外になるので、全て市の負担ということである。
- ・ 電気代については、スポットクーラーと窓設置型エアコン——省電力の物なので、キュービクルを交換するほど電気料がそれほど高くはならないだろうというふうに考えている。ただ、常設タイプのエアコンについては電気のエアコンであれば、夏場のエアコン使用時にデマンド値といって電力使用量がピークを迎えるので、学校は高圧電力での契約になっているので、このデマンド値が上がることによって、そのあとの1年間の基本料金が大幅に上がってしまう。ということで、常設タイプのエアコンを設置した場合については、電気料がかなり跳ね上がると考えているので、電気エアコンにするか他にも違うタイプのエアコンもあるので、イニシャルコスト、ランニングコストを比較しながらどのようなエアコンを設置していくかということは今検討しているところだ。

#### ○市戸 ゆたか委員

- ・ 経費が2億6,500万円ということで、これは補正か何かで出てくるのかなと思うが、例えば先ほど普通の冷暖房を設置する業者さんが大変だということなんだが、スポットクーラーを来年度——令和6年度に全部で2,579台を設置するというあたりでは、もう今から設置していく必要があるのではないかな。というのは結構時間がかかるんじゃないかなと思っているが、順番としては予算が確保できて、それから業者に発注して、業者が工事に入るとということで令和6年の夏までの間にどのようなスケジュールになっているのかを教えてほしい。

#### ○教育委員会生涯学習部長（川村 真一）

- ・ スポットクーラーについては、道内他都市、今年は皆さん同じように暑い状況であったので、スポットクーラーの需要が非常に高くなっている状況である。我々としても市内業者含め、メーカーからいろいろとお話を伺っているが、それだけの台数を来年の夏までに納品できるか、当然我々もそこら辺は懸念していたので、そこら辺の聞き取りをしている。12月中に発注ができれば、来年5月頃までには納品できる、発送できるというような情報をいただいているので、物品購入契約になるが、当然2,000万円以上になるので議会で議決していただく必要がある。なので、早めに予算の補正を行って、予算の裏づけがなければ当然業者の選定に入っていけないので、早めに予算の補正をお願いしていかなければならないと考えている。

#### ○市戸 ゆたか委員

- ・ 予算の確保というあたりでは、ぜひ早急にしていただきたいと思います。これは、今まだ国に要望していないという状況の中で私たちに説明していただいているが、見通しというか、もしこの金額が例えば冷暖房を整備するのに、新聞報道、議会質問の答弁を聞いていると数十億円かかるということなので、その金額が確保できなければどのように考えているのか——スポットクーラーでずっといくと思うけれども、そこら辺の考え方をお聞きしたいと思います。

#### ○教育委員会生涯学習部長（川村 真一）

- ・ 先ほど、資料の説明でも申し上げたが、少しでも早く子供たちに快適な環境で勉強してもらうために、我々としては国の交付金というものは必須であるので、その確保に向けて最大限の努力をしていくしかないと考えている。

#### ○市戸 ゆたか委員

- ・ 分かった。
- ・ 議会の中でも、皆さん本当に早急につけてほしいとたくさん議員のほうから意見も出されていて、こういう計画を立てていただいたと思うので、そういった意味では本当に大変だとは思いますが、ぜひ早め早め早めに対応できるようにお願いしたいということ述べて終わる。

#### ○工藤 篤委員

- ・ これはこれでいいが、資料の組立てをできれば場所——小学校・中学校、そして年度——令和6年度、7年度、そこにこのところにスポットクーラーとか、分かりやすい資料をぜひ御提示願えればありがたいと思う。
- ・ 国の制度だが、これも函館市だけでなく、東北・北海道では、恐らく全校が対応すると思うが、そういう意味では、交付金の取得については、他の自治体とやっぱり共同して、函館市は駄目だけ北斗市はいいとかということではなくて、全部でやっぱり取得するような交付していただけるような、そういう動きというのはあるか。

#### ○教育委員会生涯学習部長（川村 真一）

- ・ 先ほども御答弁申し上げたが、当教育委員会が加盟している北海道都市教育委員会連絡協議会、北海道都市教育長会、そのほかに北海道市長会。それから、先日要望が実施されたが、北海道と北海道議会、北海道教育委員会、そこには北海道都市教育委員会連絡協議会と北海道町村教育委員会連合会というものが入っているが、連名で国のほうには強く要望している。ただ、来年度どの程度の金額が必要だとかという具体的な要望はこれからなるけれども、先ほど申し上げた対象事業費の上限の撤廃とか補助率の引上げ、予算の十分な確保、高等学校が対象になっていないので——多分道教委も道立高校でかなり困っていると思うが、そこら辺の要望はしてきており、今後も具体的な要望も含めてしていかなければならないと考えている。そういった意味では、本当に道内全ての自治体が一体となって要望しているような状況にあると考えている。

#### ○工藤 篤委員

- ・ 分かった。
- ・ こういうものについては——言葉の表現は悪いが——抜け駆けでうちだけもらうということにはならないと思う。やっぱり国の1つの制度として国の方針として、一定の方向性を見つけていくということが大事だと思うので、ぜひそういう意味では政治的なものも含めて今後必要になるというふうに

思う。

- ・ 私立の学校については、どのように考えているのか。

#### ○教育委員会生涯学習部長（川村 真一）

- ・ 市内の私立の学校、幼稚園を含めて、状況を全て把握しているわけではないが、結構エアコンがついてるところが多いとは聞いている。
- ・ 今後、ついてない学校、幼稚園がどのような動きになるのかということまでは、教育委員会としては承知していないところである。

#### ○工藤 篤委員

- ・ 私立のついてないところについては、教育委員会の責任の範囲なのかどうか分からないが、同じ市民ということで考えれば、公立と同じような対応を——むしろ私立の方が先行しているかもしれないが、そうでないところについては、そういう対応もきちんとしていくべきだと思うが、いかがお考えか。

#### ○教育委員会生涯学習部長（川村 真一）

- ・ 学校以外の施設、例えば児童館などは結構エアコンがついているということ、今子ども未来部からも聞いているし、学童保育所のほうにもついている——設置者の方針でつけてないところがあるということは伺っているが——民間の幼稚園とか学校になると子ども未来部の所管になるので、そちらのほうに伝えてまいりたいと考えている。

#### ○茂木 修委員

- ・ まず、この財源の確保の問題、そして設置する業者のこと、それから機器そのものの確保のことを総合的に考えれば、教育委員会としては最善の方向で方針を出してくれたなということで、まずは評価したいと思っている。
- ・ 本当に今年の夏の暑さから子供たちを少しでも守る体制というのは非常に大事なことだ。しっかり今後も取り組んでいただきたいと思っている。
- ・ それで1点確認だが、常設エアコンを設置する場合、その優先順位というのはどういうことになるのか、小学校からとかそういうことになるのか。その辺の考え方があれば教えていただきたいと思う。

#### ○教育委員会生涯学習部長（川村 真一）

- ・ 国の交付金の確保の見通しが立たない状況の中でその優先順位というか、そのようなことを検討できる段階にはまだないと考えているが、適応能力の部分で小さい子供がいる施設——小学校から整備していくことが適当なんだろうとは考えている。

#### ○茂木 修委員

- ・ そういったことも含めてしっかりと検討していただきたいと思っているし、国の交付金については、私たちもしっかりこれは国会議員にも北海道の状況もしっかり伝えなければいけないと思っている。よろしく願います。

#### ○高橋 千晶委員

- ・ 再度の質問2点願います。
- ・ 先ほどの説明の中で、試験的に気温を測ってみたということだったが、この場所には児童生徒はい

たのか。

- ・ 2つ目は、1番のどこにつけるかという説明の中に、高等学校については特別教室を含むとなっているが、小・中学校には特別教室は含まず、スポットクーラーや窓用エアコンをその後そちらのほうに移動して使うという考え方になるのかと思うが、なぜ高等学校だけ特別教室にもつき、小・中学校にはつかないのか、その説明をお願いします。

#### ○教育委員会生涯学習部長（川村 真一）

- ・ 市立高等学校については単位制であって、選択した教科を講義室に移動しながら授業を受けるスタイルであるので、特別教室への設置も必要だと考えている。小・中学校については校長会とも協議してきたが、普通教室でできる授業に、まずフレキシブルに変更してもらおう。どうしても特別教室でやらなければならない、例えば理科の実験なんかについては先送りしていただくとか、そういう工夫を学校でしていただけるということだったので、事業費を少しでも抑制するために小・中・義務教育学校については、特別教室には設置しないと考えたところである。
- ・ 先ほどのスポットクーラーの試験であるが、子供の授業が終わった後に試験をやっているのだからそこには子供さんはいなかったということである。

#### ○高橋 千晶委員

- ・ まず、その試験の結果については、人がいるところでないとやっぱり本当の結果ではないかなと、人の体温とかはすごい。再度試験をしろということではないが、来年度スポットクーラーとか窓用エアコンを設置した教室については、びっちりではないにしても夏の本当に暑い期間とか、少し記録として残して今後の参考にさせていただければなど。そのときには先生方の負担にもならないように、ぜひお願いしたいと思う。
- ・ 2点目の特別教室の考え方については、例えば単元の入替えを季節を見ながら行うなどなるべく普通教室で行うというふうに現場にもお願いする形になるということだったが、今、専科教員を各学校で進めているので、やはり理科専科、音楽専科などはその教室——理科室、音楽室でやる、子供たちが入れ替わるのが今一番スムーズなのかなと思うので。あと算数もTTを各学校、高学年を中心に進めていると思うので、私なんか現場にいたときには算数専科として1つの教室、算数の教室として、そこに子供たちが移動してきて、1つの学年を2つのグループに分けてやる。なので、ほぼ1日びっちりその教室を使っている状況だった。普通教室でできない授業もあるので、ぜひそのあたりは各学校の実情にも合わせながら、しっかり聞き取りしてできる限り常設のエアコン設置をできるように再度検討をお願いしたいと思う。

#### ○福島 恭二委員

- ・ ちょっと見解を聞きたいが、これは教育委員会としてこの方向でやりたいと、こういうことなのか。

#### ○教育委員会生涯学習部長（川村 真一）

- ・ 教育委員会として、いろいろと業界とかに聞き取りをしながら、いろいろなことを校長会も含めていろいろと御意見をいただきながら、教育委員会としてこういう形で進めたいということで考えたところである。

#### ○福島 恭二委員

- ・ そうだとは思ったけど、少なくともこういうことを決めるに当たっては我々議員、委員会の、議会の意見を聞いて、それで最終的に詰めてこうしたいということが順序としてあるのではないかなと思う。議会の一般質問の答弁では、こんな状況の夏を来年も続けるわけにはいかんという趣旨の発言をされて、当然来年からつけるのかなと思いつつも、我々としては今それぞれから話があったように、それぞれの公平さの問題、あるいは財源の問題、機器の仕入れの問題、それを設置する業者の問題等々たくさんあると思う。どういう段階でどういうふうにしてどういう状況で最終的に決めるんだというようなことなども一応我々としての意見を聞きながら進めていくべきではないのかと思う。何らそういう意見を聞かないでつけるのは当然だからいいのではないかというね、そういう進め方というのは私はいかがかと思う。
- ・ しかも今日の資料だって今朝だろう、公式に出たのは。何でもっと早く出さないのか。出したって関係ないだろう。マスコミに漏れるとかどうのこうの心配しているようだけどね、マスコミに漏れたところで何が悪いのか。昔は一苦労あったよ、議会に報告する前にマスコミに出るのは議会軽視ではないかと。何を言ってんだという話はあったよ。だけど今、社会や世の中というのは変わっている。情報化時代だろう、どこからかでも情報は出るよ。
- ・ 議会でも当然つけなければならぬという答弁があったからつけるんだろと思うてきた。できるだけ早くやってほしいと思いつつも、あんなにも多い——五百、六百教室を1回でできるなんて誰も思っていない。財源の問題、しかも、国の補助金はありそうだけでも、道の補助金はないんだと。とんでもない話だと私は思う。なんで道がかんでこないのか、これ。だから要求するよと言ってもあれだと思うけどね。そういった課題がたくさんある、だからこうしていくと。
- ・ 私は低学年から始めるもんだと思っていた。今聞いたら全体で少しずつやると言うんでしょ。少しずつのほうがいいのか、小学校低学年から全部やって段階的に高校まで進めるという方法もあるはずなんだ。私は、その後者の議論をしたんだけどね。そういうことなんかいろいろ聞いて、こうしたいんだということを進めるべきだったんでないかね。
- ・ 私はこの資料も、私のような者がこれを見たって、今朝ぱっと見たって理解がつかないよ。もう少し丁寧にやってよ、やるんだったら。やるなどは言わないよ。時代の要請だからやらざるを得ない。皆さんの疑問もずっと疑問だ。それで今日1回で終わるのか。もっともっといい案が出てくるかも分からないよ。
- ・ これを今使って、短期間で使い終わった。これはまだ耐用年数があるよね、使った後も。何とかクーラーをどうするのか、どういう使い方を今度するのか。1回つけたのにまたこれを常設してこれも使うのか。様々あるよ、財源もやっぱり貴重な財源だから無駄にならないように効率よく使うということも考えてかなきゃならないだろう。そういう議論がたくさんあるにもかかわらず、急がざるを得ないからといって、突然出してきてこれでやってほしいと、こんなことはないだろう。
- ・ 私は進め方について極めて不満を持っている。順序についても、私は小学校低学年や幼稚園からやっていって、高学年にはあと1年間、あと2年間我慢してほしいと言ったら、皆さん分かってくれると思うよ、つけ始めたんだから北海道でも。ということなんかもあるんだよ、様々。やり方が拙速すぎるよ、これでは。もう少し丁寧にやってほしい、やるんだったら。
- ・ これも私は今これだけ見てもあれだけど、これも今もらったからこういうもんだって分かるけど



ね、やっぱりやるんだったらスケジュール的なもの、日程的なものを示して、こうしてやりたいともう少しきちんと丁寧な説明をしたっていいんでないか。それもないよね。今、工藤委員から質問されてちょっと説明があったが、やっぱりこうやって完成させたいんだという年度を含めて、順序をきちんと示して、議会を納得させるのが普通だと思うよ。それが、今日1日で終わるんだろう、これは——皆さん了解すれば。こんなことでいいのか。財源の見通しもまだつかない、道のあれもつかない。納入業者だけは用意するというので分かったかもしれないけど、設置する業者も全部それをするのか。まだまだたくさん課題はあると思うんだよ。もっと丁寧な説明ができないのかね、どうなのかね、きちんと説明してもらえないか。

#### ○教育委員会生涯学習部長（川村 真一）

- ・ ただいま丁寧ではないということで、いろいろとお話、お叱りをいただいたけれども、私どもとしては、まず来年度——来年の夏までの対策、これについては非常に急ぐと考えていて、その後、あくまでも当面の措置、常設タイプのエアコンが設置されるまでの当面の措置として、スポットクーラーであるとかそういうものを用意しなければならないと考えているけれども、その対応が非常に急がれると考えている。常設タイプエアコンについては、ただいま福島委員のほうからいろいろ御意見いただいたけれども、こちらの方についてはその御意見も踏まえながら、まだまだその検討の余地があると考えている。いろいろと今日も御意見をいただいたので、そこら辺も含めて、またさらにその検討を深めてまいりたいと考えている。
- ・ あと小学校低学年からというふうなお話もあった。私どもも、1、2年生の教室から先にできないかということも考えたわけではあるが、国の補助事業が学校単位での採択になるということを見ると、なかなか学年を分けて整備するということが非常に難しいと。また、室外機から室内機につながるわけだが、その工事をする際にどうしても足場の設置が必要になるということで、最高4階まで教室はあるが、1フロアずつ整備することによってその足場の経費が何重にもなってしまうということで、できれば一つの学校単位での整備をしたいと考えているところある。
- ・ 答弁漏れがあるかもしれないが、そのようなことで考えているところだ。

#### ○福島 恭二委員

- ・ それでは、これは今日これで了解されればこれで進めるということなんだね。それで終わりか。

#### ○教育委員会生涯学習部長（川村 真一）

- ・ 9月定例会で御質問いただいて、私はそのときに先ほど福島委員のほうからお話があったように、今の状態で来年の夏を迎えることは非常に難しいということで御答弁申し上げた。来年の夏に向けて何ができるのかということをお我々としても考えてきたところである。少しでも今の状況を改善するために何ができるのかということで今回このような方針を提示させていただいたところであるが、当然この後予算というものが絡んでまいり、今回説明してそれで終わりだとは考えていない。その予算の審議の中でまたいろいろと御意見いただけるのかなと考えているところである。
- ・ ただいま申し上げたように、スポットクーラーの措置を急ぐと考えているが、常設タイプのエアコンについてはまだ時間的な余裕があるので、そこら辺についてはまだいろいろと検討の余地というか、御意見をいただきながら検討する余地というものがあるのかなと考えている。

#### ○福島 恭二委員

- ・ いや、ここまで来てるんだからとやかく言っても遅れるばかりだからこれはできないけどね、もう少し私どもの意見も聞いて。本会議は本会議なんだよ、それぞれ個人が質問するから。あとの人たちは聞いてはいるよ、具体的なことを聞けないんだよ、本会議場では。だから、委員会をもう少し大事にしてほしいなと思うんだよ。つけることは大賛成だよ、こういった気候状況になった今日ね、1日でも早くつけてほしいなと思うし、そうあるべきだと思うよ。だからそのためにも慎重に、いかに早く、いかに皆さんに理解していただくような順番でどう進めるのかと、みんなの意見を聞いてやるのがやっぱり大事なことでないか。先ほど言った不公平感の問題もいろいろある、それぞれあるんだよ。低学年からやったとしても、高学年からは何で低学年からだと、高学年の中にだって虚弱体質の人がいるんだから、猛暑の熱を浴びて普通の体力じゃ済まない体質の子供さんもいるんだということもあるかも分からない。様々あるんだよ。
- ・ そういうことなどもいろいろ議論して、順番はどうしようか、今年度は何台にしようか、次年度は何台にしようかと何年計画でこれを完成したいとか、そういったことをきめ細かい議論の中で決めて予算はこうだと、いくべきでないかと思うんだよ。つけてやるんだからなんで文句言うんだと言わんばかりでね、これでやろうという、こんなやり方はないでしょ。もう少しその辺の議会の議論というものを重く見るという前提でそちらのほうも運営してほしいなと私の意見として申し上げて終わる。

#### ○工藤 篤委員

- ・ ちょっと教えてほしいんだが、4、その他の最後のところで熱中症指数計の配備ということだが、これの活用なり整備というのはどのように考えているのか。

#### ○教育委員会生涯学習部長（川村 真一）

- ・ 熱中症指数計については、壁かけ型のものを想定していて、当然毎日時間によって、昼が近づけば室温も上がってくるだろうし、各教室の先生が子供たちの体調、室温を含めて確認するために必須だろうということで、配備したいと考えたところである。

#### ○工藤 篤委員

- ・ 具体的に、その指数がここに至ったらもう駄目というか、子供たちを帰すとかいろんな考え方があろうと思うが、そういう指針というのはある程度作っているのか。

#### ○教育委員会生涯学習部長（川村 真一）

- ・ 熱中症指数については、数値によって危険だとかいろいろとあるが、そこら辺の危険な状態であれば、各学校長の判断で授業時間を繰り上げるだとか、そういう判断というものが当然出てくるんだろうとは考えている。

#### ○出村 ゆかり委員

- ・ 再度で申し訳ない、これで最後にする。確認なんだが、聞き漏らしていたらお詫びする。
- ・ スポットクーラー、窓用エアコン2,579台、約2億6,500万円、これはせいぜい長くて2シーズンの利用ということだよ。令和6年の夏、長くて令和7年の夏、長くて2回分。今現在、各教室にコロナ対応で扇風機があったということだが、これはおそらくエアコンがいたら不要になると思うが、今のところその後どのような活用をお考えなのかお聞きする。

#### ○教育委員会生涯学習部長（川村 真一）

- ・ スポットクーラーを何年使うのかという部分であるが、学校によっては常設タイプエアコンがいつ

整備できるのか、その年度がまだ明確ではないので、常設タイプのエアコンが稼働できるまではスポットクーラーを使っていたらいいと考えている。その常設タイプのエアコンの整備についても、工事は学校の授業がある日にはなかなかできない。特に室内機は学校の窓が天井についている状態、全面窓の状態その壁のほうにはつけられない学校が非常に多い。天井につけることになると思うが、壁の強度が足りなければ壁の補強もしなければならないし、当然授業のある時間帯には工事ができないということで、施行期間も長期になるだろうと考えている。整備した年度の翌年度に稼働というふうを考えているので、令和6年度と整備期間——整備が遅れた学校についてはそれまでの期間、スポットクーラーを使っていたらいいことになるだろうと考えている。

- ・ スポットクーラーが必要なくなった場合は、先ほども申し上げたように特別教室にはスポットクーラーを整備しないので、常設タイプのエアコンも整備しないつもりでいるので、特別教室でそのスポットクーラーを使ってもらおうということを考えている。
- ・ 今、国のほうでもエアコンの整備率を発表しているが、この整備率はスポットクーラーも含めた数字になっていて、特別教室にスポットクーラーを移設することによって、函館の学校についてはほぼ100%の整備率になると考えている。

#### ○出村 ゆかり委員

- ・ 軽く計算してもかなり余るし、飽和状態になると思う。
- ・ 申し訳ないが、再度、福島委員、工藤委員のお話も聞いて、せめて優先順位——低学年ともおっしゃったけれども、保健室は最初じゃないかなと思うがそういうお考えはなかったのか。（「来年の夏までにはつく。4番に書いてある。」との声あり）

#### ○高橋 千晶委員

- ・ 今の余ったスポットクーラーの取扱いなどについては、保管場所の問題もいろいろあると思うが、避難場所としての学校にはきちんとある程度の数は保管しておいていただきたいなど、夏の避難のときにそういうスポットクーラーが使えるようにきちんとキープしておいていただきたいと思うので、要望する。

#### ○委員長（島 昌之）

- ・ ほかに発言ないか。（なし）
- ・ 発言を終結する。理事者におかれては、本日の質問の趣旨を踏まえ、今後の対応を進めていただきたいと思う。
- ・ ここで理事者は御退出願う。

（教育委員会 退出）

- ・ その他本件について何か発言あるか。（なし）
- ・ 議題終結宣言

---

## 2 その他

#### ○委員長（島 昌之）

- ・ 次に、2のその他だが、各委員から何か発言あるか。（なし）
- ・ 散会宣告

午前11時0分散会